

あり、后妃を皇妃と稱り、後妃の字の旁と
脱して皇女と出たりや、又、崇禎記を見
まして云傳へ、この事を後妃と云ひ
るや。

旧記曰、弘海能除の、攀羽山、修持、月、乃、後、阿久
谷、三、秋、と云く、全文、能除、堂の下に、記、を、今、按
ずるに、古、歌、

陸奥乃、あ、や、の、松、あり、う、れて

出、さ、月、の、出、屋、あ、う、那

とよこ、ハ、け、而、や、け、歌、月、の、歌、も、似、て、月

の、歌、も、あ、る、と、出、世、ま、さ、人、の、阿、久、谷、の、松
の中、に、う、ま、て、世、も、出、あ、い、ぬ、を、月、も、よ、そ、
て、よ、め、の、歌、も、や、といふ、人、も、あ、り、子、校、も、あ、り
—松、多、く、あ、り、と、そ、又、多、き、松、な、と、いふ、有
孝、中、神、行、の、お、ち、う、て、い、山、中、の、山、伏、も、由、く
事、な、—と、あ、や、三、山、雅、集、に、能、除、ち、子、ハ、増、子
皇子、なり、と、あり、崇、禎、記、を、み、る、に、増、子、ま、子
清、隆、誕、の、事、ハ、あ、れ、た、後、焉、の、事、ハ、見、入、と、記
ら、く、ハ、崇、峻、帝、馬、子、ハ、戦、さ、れ、あ、り、乃
系、域、を、透、り、て、け、は、ま、下、向、—あ、い、市、文、帝